



葉山小だより

「自分で考え 行動する子」「仲良くする子」

令和3年度
No. 8

2021. 9. 7

葉山町立葉山小学校

校長 安達 禎崇

◇◇ オンラインを活用した学習指導に向けて ◇◇

今年度4月より、政府のGIGAスクール構想に基づき、児童一人に一台ずつのタブレットが配備されました。葉山町としては当初より、タブレットの持ち帰りについて「小学校では今年度は実施しない」としていました。しかし、新型コロナウイルスの感染拡大による学級閉鎖や休校等に備え9月以降、小学校でも持ち帰りが可能となりました。

このことを受け、葉山小学校でも今後、万一の学級閉鎖や休校等の事態に備え、児童がタブレットを持ち帰ることを想定した「オンラインを活用した学習のための指導」に取り組んでいきます。

1学期は主にGIGAスクール構想の観点からタブレットの使い方を覚えるとともに、教科や総合学習等の中で取り入れてきました。しかし小学校においては、1年生から6年生までの発達段階の違いから、活用の度合いに大きく差が出ているのが現状です。高学年ではGoogle Classroomやロイロノートを活用し、文字入力もできることから、画面上での意見交換や課題の回答を提出するなど、使いこなしている状況が多く見られますが、低学年ではどうやったら指示されている画面を出せるのか、次の画面にどうやって移るのかもやっとなり、文字の入力など、まだまだという状況も見られています。

タブレットの持ち帰りを想定せず、学校で使用しているうちは、使用の仕方そのものが学習でしたし、何より教員が付いて指導していますから良かったのですが、これを家庭に

持ち帰って使おうとすると、まずは最低、使用の仕方について児童が十分に理解していただくことが必要となります（もちろん、ご家庭にWiFi環境があることも必須です）。

そこで9月1日から全学年で、児童が自宅にタブレットを持ち帰り、また学校外においても一定の学習活動を行うことができるよう「オンラインを活用した学習のための指導」を行っています。

当面の目標は、

- ① Google Classroomやロイロノートでその日の学習課題を受け取ることが出来る。
- ②（同じく）課題の提出が出来る～主に高学年～。
さらにスキルが上がれば、
- ③ Google Meetによる朝の会の実施。

尚、①の中では学級閉鎖や休校等が長引く場合や、スキルのある高学年向けのために、何らかの形の授業配信も検討しているところです。

以上のような内容をご家庭でできるだけ円滑に行えるよう、試行として6年生に9月3日（金）「家庭でWiFiがつながるかどうか？、6日には家庭でGoogle Meetによる朝の会が出来るかどうか？」のチェックのためにタブレットを持ち帰ってもらいました。

学校としては、この結果を受け、できるだけ早い段階で持ち帰りが可能となるよう、体制を整え、万一の場合に備えて参りたいと思います。

★ご自宅のPCやタブレットを使用して「オンラインを活用した学習」に参加することも可能です。その場合は保護者の責任でフィルタリングをかけ、児童が有害なサイトにアクセスできないよう設定をお願いします。



◇◇◇ ビオトープ修繕 第2弾 ◇◇◇



8月29日(日)。猛暑の中、有志の保護者の方々(お子さん含めて6名)がビオトープ周辺整備の第2弾を実施してくださいました。

前回防水加工したビオトープ最上流部の次、2段目部分の水たまりの防水加工を主にお父様方に、校地外回りの草刈りなどを主にお母様方にしていたいただき、防水加工はまた一歩前進、校舎周りとはともすっきりとしました。

休み時間のお散歩だけでなく、授業でも活用されているビオトープ。PTAの皆様のお力を借りながら、今後も少しずつ、子どもたちの貴重なオアシス空間として修繕・整備を進めていけたらと思います。

◇◇◇ 黙食・美食・給食 ◇◇◇

9月3日(金)。2学期の給食が始まりました。この日のメニューは「きな粉揚げパン、スープ煮、コーンサラダ、牛乳」です。10時半を過ぎる頃から校舎内には「いいにおい」が漂い始め、子どもたちの会話からは「今日は揚げパンだ。私、100個は食べられる」等、期待に胸を膨らます様子が伝わってきました。

そして給食の時間。美味しい給食も当然「黙食」。担任の先生方は、子どもたちの味の感想をその表情から読み取り、おかわりをしたい人は黙って手をあげてもらい、配食しています。

短縮授業のため、給食開始は30分早くなっています。それに対応すべく、給食室の職員もがんばってくれています。コロナの感染が収まるまで、美味しい給食、もうしばらく「黙って」味わってくださいね。



◇◇ 学校の稲・元気に育ってます ◇◇

5年生が田植えの際に〇〇さんからいただいた稲が、元気に育ち、穂をつけ始めました。「田んぼに来なくても、学校で他の学年も、身近に手軽に観察できるように」ということでプラスチックの舟に土を入れ、水を張って育てている学校稲。コロナの感染拡大で田植え以来、本物の田んぼになかなか行けなくなってしまった今では、その成長の様子が見られる貴重なミニ田んぼです。

これからは鳥たちに実をついばまれないよう、どのように管理するかが課題となりそうです。



<保護者の方へ> 現在学校では朝、教室に入る前に、昇降口で職員が直接、児童の体温チェックを行っています。児童から朝の体温を聴取していますが、忘れてたり、わからなかったりという児童のために、東・西両昇降口に、**据え置き型非接触体温測定器**を設置しました。さらに教室では「健康観察カード」を担当がチェックする二重体制をとっています。ただ、カードを忘れる、検温をしていない等の児童も見受けられます。ご家庭での登校前の検温は忘れずにお願いします。